

# ついでレポ No. 484



日本共産党区議会議員 おぐり智恵子の

議員活動報告

事務所: 中央区日本橋人形町1-10-8  
自宅: Tel/Fax 3249-1762発行・日本共産党中央区議会議員団 Tel 3546-5563  
HPアドレス <http://www.jcpchuo-kugidan.jp/>

## 保育料の無償化（0～2歳児も）早期に実施を



パークPFI制度で整備予定の桜川公園

「住まいは人権」の立場に立って、公営住宅など住み続けられない事態が進んでいます。

**中央区の新年度予算に反対**

区議会第一回定例会で、2025年度予算が賛成多数で可決されました。

日本共産党区議団は、区予算案の問題点を指摘し、反対しました。

**反対の理由（抜粋）**

▼新年度予算のテーマは「住み続けられるまちを目指して」となっていますが、マンション価格の高騰などで住み続けられない事態が進んでいます。

### 日本共産党区議団の「予算修正案」

日本共産党区議団は、予算特別委員会で2025年度の一般会計予算に対する修正案を提出しました。

物価高騰でくらしが厳しくなる中、党区議団は、0～2歳児の保育料の無償化（3～5歳児はすでに無償）することや、生活保護世帯への見舞金の復活などを実現するため、一般会計を1億9,721万6千円増額する提案です。

#### 《歳入予算の修正内容》

|                       |            |
|-----------------------|------------|
| 私立・区立保育所の保育料の無償化----- | △6億1,440万円 |
| 情報公開の閲覧・視聴手数料の廃止----- | △52万円      |
| NTT・東電などへの道路占用料を増額--- | 4億8,212万円  |
| 財政調整基金からの繰入金を増額-----  | 3億3,001万円  |
|                       | 計1億9,721万円 |

#### 《歳出予算の修正内容》

|                       |            |
|-----------------------|------------|
| 議長交際費を半分に削減-----      | △50万円      |
| 議員の費用弁償の廃止-----       | △409万円     |
| 区長交際費を半分に削減-----      | △200万円     |
| 生活保護世帯への見舞金復活-----    | 1,300万円    |
| 桜川公園のパークPFIによる整備の中止-- | △358万円     |
| 小中学校の教材費等の無償化-----    | 2億1,000万円  |
| 学習力サポートテストの中止-----    | △1,561万円   |
|                       | 計1億9,721万円 |

残念ながら「修正案」は否決されましたが、引き続き実現目指し、ねばり強く要望・提案していきます。

の拡充や借り上げ住宅、セーフティネット住宅の拡大や、家賃補助制度の実施など、中央区に住み続けられるようにするための住宅政策を求めます。

▼環境に多大な負荷をかける大規模再開発事業による超高層オフィスビルやタワーマンション建設は見直すべきです。

▼23区中14区が制定し、賃金の引き上げにも効果のある公契約条例



ブログに全文掲載中▼



を早期に制定すべきです。

▼中央区の魅力の発掘のためにも、築地市場跡地は、「浴恩園」の保存、再生や広大な緑地、防災公園として整備すべきです。

▼義務教育は無償の立場に立って教材費などの無償化も実施するよう求めます。

くり返し求め、やっと実現！

## 補聴器の購入費助成

# 7万2000円に拡大

中央区の2025年度予算で、  
これまででは3万5000円だった  
高齢者の補聴器購入費助成が7万  
2000円に拡大されます。

### 充実内容

|       |        | 現行      | 充実後     |
|-------|--------|---------|---------|
| 上限額   | 住民税非課税 | 35,000円 | 72,000円 |
|       | 住民税課税  |         | 35,000円 |
| 所得制限  |        | 有       | 無       |
| 再交付申請 |        | 不可      | 可※      |

※助成金の交付決定を受けてから5年を経過することが条件

日本共産党区議団は、2019年11月の一般質問で助成の拡大について質問して以来、予算委員会など議会質問でくり返し拡充を求め続けてきました。

補聴器の装着率は、イギリス約48%、デンマーク約53%など欧米諸国と比べた場合、日本は約14%と極めて低く、経済的な負担の重さが最大の要因になっています。難聴になるとコミュニケーション不足に陥り、うつ病の発症や認知症につながるため、補聴器利用を広げることは大切です。

### 今後は再購入も対象に

党区議団は、補聴器の経年劣化も考慮し、再購入する際も助成の対象とするよう求めてきました。助成を受けてから5年を経過す

ることが条件となっているものの、再購入への助成も実現しました。

### さらなる拡大にも全力

中央区が今回、やっと助成額拡大に踏み切るまでの間に、23区では、台東区14万4900円、中野区9万円など中央区以上に助成を拡大しています。さらなる助成額引上げのため、今後も頑張ります。

### 「請選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書の提出についての請願」

4月14日、企画総務委員会で、新日本婦人の会から提出された選択的夫婦別姓を求める内容の請願審議が行なわれました。

#### 請願の紹介議員

日本共産党区議団（2人）  
かがやき中央（5人）  
れいわ新選組（1人）  
…計8人

夫婦同姓を法律で定めているのは世界でも日本だけで、婚姻の際、96%が夫の姓となっています。

望まない改姓や事実婚、通称使用などによる不利益や不都合を強いられるなど、多くの女性にとって多大な

負担となっています。

請願者の要望に応じ、委員である私、奥村あきこが、この委員会の中でただちに採択するよう求めました。

しかし、自民、立憲民主党・無所属、公明、中央区民クラブの委員の賛同を得られず、継続審査となりました。

また、参政党議員は反対の意見開陳を行ないました。

選択的夫婦別姓制度は、同姓か別姓かを「選択」できるようにするもので、強制されることはありません。

1日も早い制度実現のために、今後も声を上げていきたいと思っています。

なんでも

### 生活相談

3546-5563（区議団控室）

3551-6820（地区委員会）

無料

### 法律相談

毎月第3火曜日3時から

要予約 連絡先は同上

